

授業科目	* 保健福祉学入門					単位	1			
履修	必修	関連資格				ナンバリング	WE10401J			
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP4-1					
担当教員	伊藤 直子、財津 倫子、通山 久仁子、大嶋 満須美、梶原 浩介、永原 真奈見、花田 浩和									
授業概要	<p>保健福祉学は人々の健康と福祉(幸福)に貢献することを探求する研究の営みであり、基礎から実践まで幅広い課題に取り組んでいる。この営みは看護、福祉、栄養などさまざまな専門家が協力し合うことで発展してきた。保健福祉学部に所属する学生がめざす看護、福祉、栄養の専門職も、現場においてはお互いに協力し合うこと、多職種協働が求められている。これを実践するには、自らの専門性を高めるだけでなく、協働する他職種への理解と協力し合う力が求められる。</p> <p>本科目は看護学科、福祉学科及び栄養学科における学びをスタートするにあたり、保健・医療・福祉の専門性を理解するために本学教員の学問領域にふれ、多職種協働の意義を理解し、社会の期待に応えるための課題の認識を深めていくものである。</p>									
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 保健福祉学分野における社会的ニーズを捉えることができる。(DP1-1) 看護、福祉、栄養の各々の専門領域について理解できる。(DP3-1) 多職種協働の必要性を説明できる。(DP3-1) 保健福祉学入門の学修を踏まえ、自らの学ぶべき課題を整理して説明できる。(DP4-1) 									
達成度評価										
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考		
総合評価割合	0	0	100	0	0	0	100			
知識・理解 (DP1-1)			50				50			
知識・理解 (DP1-2)										
知識・理解 (DP1-3)										
知識・理解 (DP1-4)										
思考・判断 (DP2-1)										
思考・判断 (DP2-2)										
関心・意欲 (DP3-1)			40				40			
関心・意欲 (DP3-2)										
態度(DP4-1)			10				10			
態度(DP4-2)										
態度 (DP4-3)										
技能・表現 (DP5-1)										
技能・表現 (DP5-2)										
技能・表現 (DP5-3)										
具体的な達成の目安										
理想的レベル	標準的なレベル									
標準的レベルに加え、保健福祉学分野における社会的ニーズを多角的に捉え、専門領域を超えて、学ぶことの意義を説明できる。	<ul style="list-style-type: none"> 保健福祉学分野で学ぶことの意義を説明できる。 保健福祉学分野における社会的ニーズを説明できる。 自らの学科で学ぶことの専門性と、他学科との関連性を説明できる。 多職種協働で取り組む意義が説明できる。 									
授業計画										
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法			学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)			

1	保健福祉学分野で学ぶ意義と課題(担当:伊藤)	講義	復習:当該部分の復習	復習 30 分
2	看護の専門領域における多職種協働(担当:大嶋)	講義	復習:当該部分の復習	復習 30 分
3	看護の専門領域を探求するとは(担当:財津)	講義	復習:当該部分の復習	復習 30 分
4	福祉の専門領域における多職種協働(担当:梶原)	講義	復習:当該部分の復習	復習 30 分
5	福祉の専門領域を探求するとは(担当:通山)	講義	復習:当該部分の復習	復習 30 分
6	栄養の専門領域における多職種協働(担当:花田)	講義	復習:当該部分の復習	復習 30 分
7	栄養の専門領域を探求するとは(担当:永原)	講義	復習:当該部分の復習	復習 30 分
8	1回から7回の講義を通し、専門家として社会に果たすべき役割について解説する。(担当:伊藤)	講義 演習	復習:当該部分の復習	復習 30 分
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	静かに傾聴する力。 話を要約する力。			
テキスト	指定なし。 講義によってプリント等の配付があります。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義中に講師の先生から紹介があります。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉学部合同の授業です。学科の枠を越えて学びます。 ・講師の先生方の都合で、講義日が前後する可能性もありますので、掲示などにご注意下さい。 ・講義で聞いた内容について、図書館の書籍やネットで検索し、理解を深めて下さい。 ・講師の先生に感想や質問を直接に訴えることも有意義だと思います。 ・毎回、小レポートの提出をもって出席とします。 ・積極的に取り組まれることを期待します。 			
達成度評価に関するコメント	<p>毎回提出する単元レポート及び最終的に提出するレポートで評価します。 行動目標の点数配分比率はつぎの通りとします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保健福祉学分野における社会のニーズを捉えることができる。 50% 2. 看護、福祉、栄養の各々の専門領域について理解できる。 20% 3. 多職種協働の必要性を説明できる。 20% 4. 保健福祉学入門の学修を踏まえ、自らの学ぶべき課題を整理して説明できる。 10% 			

